

教科の目標

生活の営みに係る見方・考え方や技術の見方・考え方を働かせ、生活や技術に関する実践的・体験的な活動を通して、よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、生活を工夫し創造する資質・能力を身につける。

学年の目標

技術の見方・考え方を働かせ、ものづくりなどの技術に関する実践的・体験的な活動を通して、技術によってよりよい生活や持続可能な社会を構築する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

評価の観点

月	単元	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
4 5 6 7	情報技術基礎 情報モラル タイピング	情報の表現、記録、計算、通信の特性等の原理・法則と、情報のデジタル化や処理の自動化、システム化、情報セキュリティ等に関わる基礎的な技術の仕組み及び情報モラルの必要性について理解している。	情報の技術に込められた問題解決の工夫について考えている。	主体的に情報の技術について考え、理解しようとしている。
9 10 11 12	通信とネットワーク プログラミング基礎	情報通信ネットワークの構成と、情報を利用するための基本的な仕組みを理解し、安全・適切なプログラムの制作、動作の確認及びデバッグ等ができる技能を身に付けている。	問題を見いだして課題を設定し、使用するメディアを複合する方法とその効果的な利用方法等を構想して情報処理の手順を具体化するとともに、制作の過程や結果の評価、改善及び修正について考えている。	よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりしようとしている。
12 1 2 3	計測と制御の基礎 実機の操作	計測・制御システムの仕組みを理解し、安全・適切なプログラムの制作、動作の確認及びデバッグ等ができる技能を身に付けている。	問題を見いだして課題を設定し、入出力されるデータの流れを元に計測・制御システムを構想して情報処理の手順を具体化するとともに、制作の過程や結果の評価、改善及び修正について考えている。	よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりしようとしている。
主な評価方法		定期テスト 技能の習得状況 (作業の様子・作品の出来)	定期テスト 作品への工夫 レポート グループでの話し合い	提出物 振り返りによる自己評価 粘り強く学習へ取り組む姿勢

学習の進め方

- ・ 1週間に1回の授業のため、忘れ物には十分に気を付け、作業や課題に集中して取り組みましょう。
- ・ 実技に関しては、実技テストや机間指導による技能のチェックを行いましょう。
- ・ グループワークを中心とした作業の協力体制を大切にし、お互いがサポートし合いましょう。